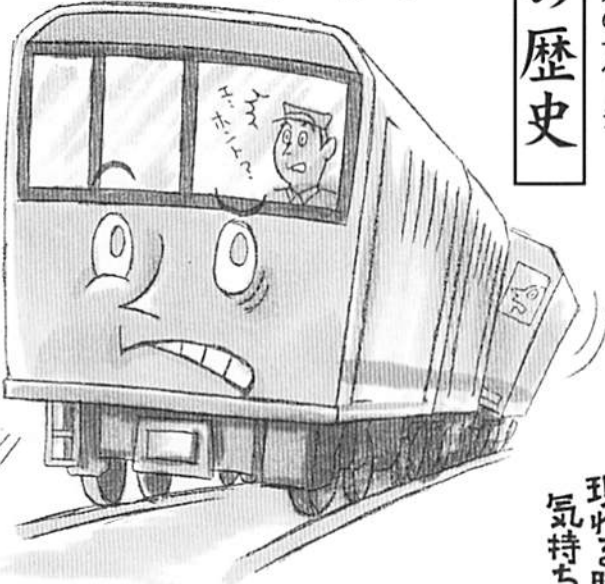


危なくても乗らなきゃならん人のため
安全策と調査報告はまめにしてくれ

現実には電車は何も
教えてくれないし…。

オトオト
三田
脱線するぞ!!



3月8日、営団電鉄日比谷線で脱線衝突事故が起こり、5人が亡くなった。電車を日常の足として使わざるを得ない人たちにとって、電車が脱線するというのはまさに恐怖。原因は今のところ、車両の不具合と線路の急カーブが重なったためとされている。

これを受けて、京都市営地下鉄東西線も線路の状況や車両をチェック。結果異常はなかったが、東西線に営団地下鉄事故と同程度の急カーブが上下線あわせて6カ所あることが公表された。京都市交通局は脱線防止対策やせり上がり対策を施している、充分安全性を確保できるとコメントしている。

しかしながら、なぜか車内が狭い東西線。素人考えで申し訳ないが、脱線時のダメージも心なしか大きいような気がするのだが…。ダイヤ改正で本数も増えたことだし、営団と同じ基準ではなく、独自の安全対策とこまめな調査報告を求む！別に電車乗るのに命を賭けたかないが、実際に命を賭けてるのが現状なんだから。

いまどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

「アレフ」に改称したオウム真理教の関連会社に防衛庁をはじめとする省庁やNTTなどの一流企業80社がシステム開発を発注していたことがわかった。もちろん、発注側はオウム関連と知っていたわけではない。教団側がタミー会社を使って営業したり、下請け業者が教団系のシステム開発業者に委託したりしていたためなのだが、決定的なのは教団のシステム開発費がべらぼうに安かったこと。市販の商品と同様、時には相場の半値近いこともあったという。景気が低迷するこの時代、少しでも安い物を求めたい気持ちは当然のこと。オウムはそこうまく取り入って、仕事を引き受けたのだ。

折しも、省庁や大企業のアウトソーシングが進められてきており、中小企業にとってもビジネスチャンスが広がりがつつあった矢先のこの事件。これをきっかけに、外注に慎重にならざるを得なくなってしまうのではないかと！しかも、無責任な価格破壊。社員の生活を預かっている中小企業の身にもなってくれよ。

省庁・大企業、オウムに仕事発注
迷惑をこうむるのは中小企業だ！

アウトソーシング



千円の車が現れる時代、
気持ちはりからごもないが…

流通革命

海外旅行先で、盗まれた 自分の車に乗る事になりでもしたら…



ランクルが危ない!

車両盗難多発! 日本の警察は 人が死なんと動かんのか?

トヨタのランドクルーザーが狙われている。地域は大阪→京都南部ときて、今年からは滋賀県内に被害が集中。手口はまず深夜に車の後部ドアのキーシリンダーごとはずして盗み出し合い鍵を作り、数日後、まるで所有者のように乗り去るというものらしい。未確認だが、どうやら盗難車両は海外に流れているという。あまりにも正確に同車種ばかりを狙ったこの連続事件。ウワサされる陸運事務局に登録されたこの車種のユーザーの個人情報漏洩さえ信じたくなくなってしまう。

日本には車庫証明という決まりがある。そのデータは警察が管理しているわけで、どの場所に誰の何という車が保管されているかを最もよく知っているわけだ。にもかかわらず、特定の車種のみを狙う犯罪に、そのデータが有効に役立てられないのはなぜか? 先の新潟女性監禁事件などで「事が起こらなければ動かない警察」の体質が浮き彫りにされているが、この事件は人目につくマンションの駐車場できさ起こっている。「事が起こっても、具体的措置をとらない警察」、いったい何やっとなんのじゃ!



文◎大塚 祐希

1968年6月26日大阪府八尾市生まれ。尊敬する人物はブラックジャック先生と矢吹文(あしたのジョー)、ネロ(フランダースの犬)。趣味はサッカーや相撲などのスポーツ観戦だが、当の本人はスポーツとはほど遠いウラナリビョウタン。体力の乏しさを糧に上げ、毒舌つかばん節に日々磨きをかける。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。イラスト制作ユニット、キャトル・イラストレーションのリーダー。北山のオフィスで絵を描いたり、ルノ-4で出かけたり。雑誌屋・本屋・レコード店で過ごしたりの合間には、音楽ユニット「duex cafe」で歌声も披露。HP◎http://www.d1.dion.ne.jp/~nyoguch